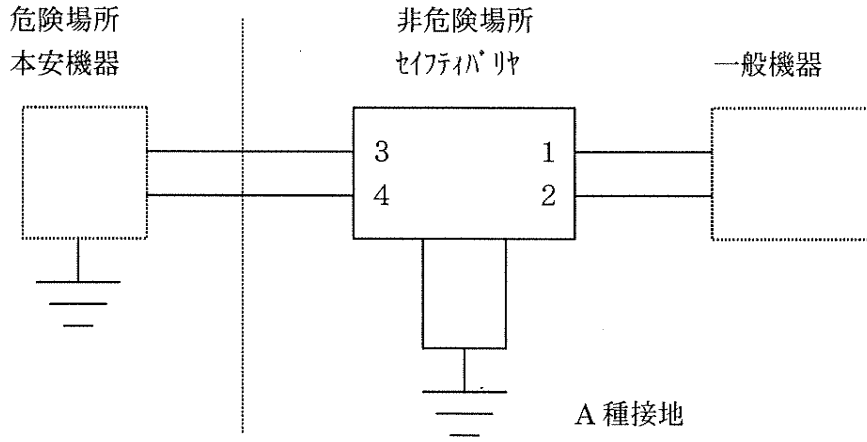


1. セイフティリヤは、以下に示すように構成して使用する。



2. セイフティリヤは、非危険場所に設置する。

3. セイフティリヤの接地は、単独で A 種接地工事に準じて行う。

4. セイフティリヤと接続して使用する本安機器は、本安機器のみで型式検定に合格したもので、以下の条件を満足するものとする。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 安全保持定格 | (2) 性能区分及びグループ |
| 本安回路許容電圧 28V 以上 | 性能区分 ia, ib |
| 本安回路許容電流 119mA 以上 | グループ IIA, IIB, IIC |
| 本安回路許容電力 835mW 以上 | |
- (3) 内部インダクタンス及び内部キャパシタンスと本安回路外部配線のインダクタンス (Lw) 及びキャパシタンス (Cw) の関係
- 内部インダクタンス (1.82mH - Lw) 以下
- 内部キャパシタンス (0.083μF - Cw) 以下
- (4) 本安回路外部配線の許容インダクタンスと抵抗の比
- $Lc/Rc \leq 44 \mu H / \Omega$ (Li=0)



5. セイフティリヤと接続して使用する一般機器は、その入力電源、機器内部の電圧等が正常状態及び異常状態においても AC250V 50/60Hz, DC250V を超えないものとする。

エム・ティー・エル・インストゥルメンツ株式会社

	Measurement Technology Ltd
Title システム構成図	Drg.No. SCI787SP+